

四半期報告書

(第5期第1四半期)

自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

東京都港区南青山一丁目1番1号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	5
3 関係会社の状況	5
4 従業員の状況	5
第2 事業の状況	6
1 生産、受注及び販売の状況	6
2 経営上の重要な契約等	6
3 財政状態及び経営成績の分析	7
第3 設備の状況	16
第4 提出会社の状況	17
1 株式等の状況	17
(1) 株式の総数等	17
(2) 新株予約権等の状況	17
(3) ライツプランの内容	17
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	17
(5) 大株主の状況	17
(6) 議決権の状況	18
2 株価の推移	19
3 役員の状況	19
第5 経理の状況	20
1 四半期連結財務諸表	21
(1) 四半期連結貸借対照表	21
(2) 四半期連結損益計算書	23
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	25
2 その他	33
第二部 提出会社の保証会社等の情報	61
[四半期レビュー報告書]	62

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月13日
【四半期会計期間】	第5期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
【英訳名】	Sony Financial Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 徳中 暉久
【本店の所在の場所】	東京都港区南青山一丁目1番1号
【電話番号】	03-5785-1070（代表）
【事務連絡者氏名】	広報・IR部長 此尾 昌晃
【最寄りの連絡場所】	東京都港区南青山一丁目1番1号
【電話番号】	03-5785-1070（代表）
【事務連絡者氏名】	広報・IR部長 此尾 昌晃
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第5期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第4期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
経常収益(百万円)	215,046	822,153
経常利益(百万円)	13,953	44,500
四半期(当期)純利益(百万円)	7,829	24,255
純資産額(百万円)	237,486	261,627
総資産額(百万円)	5,130,814	4,977,450
1株当たり純資産額(円)	109,189.40	120,288.66
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3,599.85	11,357.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	4.63	5.26
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	214,620	445,452
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	224,458	605,280
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,797	22,300
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	122,431	136,186
従業員数(人)	6,370	6,253

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(参考)

参考として、主たる子会社の「主要な経営指標等の推移」を記載します。

ソニー生命保険株式会社

[主要な経営指標等の推移]

回次	第30期 第1四半期 累計(会計)期間	第29期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
保険料等収入(百万円)	162,590	648,406
資産運用収益(百万円)	27,533	87,493
保険金等支払金(百万円)	60,938	241,106
経常利益(百万円)	12,345	39,290
契約者配当準備金繰入額(百万円)	874	3,159
四半期(当期)純利益(百万円)	7,022	18,514
資本金(百万円)	70,000	65,000
発行済株式総数(千株)	70,000	65,000
純資産額(百万円)	168,796	182,671
総資産額(百万円)	3,724,558	3,659,786
1株当たり純資産額(円)	2,411.38	2,810.33
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	104.59	284.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	4.53	4.99
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	86,815	334,751
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	87,964	489,454
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,999	6,500
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	97,148	95,299
従業員数(人)	5,421	5,364

- (注) 1. 保険料等収入、資産運用収益、保険金等支払金には、消費税等は含まれておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
3. 金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査又は四半期レビューを受けておりません。

ソニー損害保険株式会社
[主要な経営指標等の推移]

回次	第11期 第1四半期 累計(会計)期間	第10期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
経常収益(百万円)	15,710	55,649
正味収入保険料(百万円)	15,529	55,001
経常利益(百万円)	472	2,817
四半期(当期)純利益(百万円)	288	2,185
正味損害率(%)	49.82	53.51
正味事業費率(%)	26.06	26.74
利息及び配当金収入(百万円)	162	578
資本金(百万円)	20,000	20,000
発行済株式総数(千株)	400	400
純資産額(百万円)	15,683	15,385
総資産額(百万円)	81,472	78,645
1株当たり純資産額(円)	39,207.57	38,462.76
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	720.26	5,464.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	19.25	19.56
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,613	7,554
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,647	7,537
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	-	-
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	5,724	6,757
従業員数(人)	694	651

- (注) 1. 経常収益、正味収入保険料には、消費税等は含まれておりません。
2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりませ
ん。
5. 金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査又は四半期レビューを受けておりません。

ソニー銀行株式会社
[主要な経営指標等の推移]

回次	第8期 第1四半期 累計(会計)期間	第7期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
経常収益(百万円)	8,643	25,988
経常利益(百万円)	1,277	2,746
四半期(当期)純利益(百万円)	754	4,492
資本金(百万円)	28,000	25,000
発行済株式総数(千株)	560	500
純資産額(百万円)	41,357	35,712
総資産額(百万円)	1,312,493	1,211,000
預金残高(百万円)	1,241,247	1,144,398
貸出金残高(百万円)	372,646	347,065
有価証券残高(百万円)	613,837	488,777
1株当たり純資産額(円)	73,853.32	71,424.33
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	1,382.37	8,984.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(国内基準)(%)	10.20	9.15
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	125,800	101,999
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	131,848	102,630
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	8,000	-
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	9,298	7,346
従業員数(人)	171	162

- (注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりませ
ん。
3. 自己資本比率(国内基準)は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし
自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第19号)に基
づき算出しております。
4. 金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査又は四半期レビューを受けておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	6,370 (1,278)
---------	---------------

（注） 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含んでいます。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材派遣会社からの派遣社員を含みません。）は、当第1四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しています。

(2) 提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	27 (3)
---------	--------

（注） 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでいます。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材派遣会社からの派遣社員を含みます。）は、当第1四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しています。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

「生産、受注、及び販売の状況」は、該当する情報がないので記載しておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業部門においては、エネルギー・原材料高などが景況感を悪化させる一方で、個人部門においても所得の伸びの鈍化とエネルギー・食品を中心とした物価上昇などから消費の落ち込みが見られるなど、停滞色を強める状況となりました。

当第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）の連結経常収益は、銀行事業及び損害保険事業で増加しましたが、生命保険事業で減少し、前年同期比0.9%増の2,150億円となりました。

生命保険事業では、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入は増加したものの、特別勘定の資産運用収益が減少したことから、経常収益は前年同期比1.6%減の1,909億円となりました。損害保険事業では、自動車保険の保有契約件数が増加したことにより、正味収入保険料が増加し、経常収益は前年同期比11.0%増の157億円となりました。銀行事業では、業容の拡大にともなう運用資産残高の増加により資金運用収益等が増加し、経常収益は前年同期比60.7%増の86億円となりました。

経常費用は、銀行事業及び損害保険事業で増加しましたが、生命保険事業で減少し、前年同期比0.6%増の2,010億円となりました。

生命保険事業では、事業費等が増加したものの、資産運用費用の減少により、経常費用は前年同期比1.7%減の1,785億円となりました。損害保険事業では、保有契約件数の増加にともなう正味支払保険金及び事業費の増加により、経常費用は前年同期比12.5%増の152億円となりました。銀行事業では、預金残高の増加にともなう資金調達費用の増加により、経常費用は前年同期比55.9%増の75億円となりました。

上記の結果、経常利益は、銀行事業及び生命保険事業で増加しましたが、損害保険事業で減少し、前年同期比4.1%増の139億円となりました。生命保険事業では、1.0%増の123億円、損害保険事業が23.5%減の4億円、銀行事業が106.1%増の10億円となりました。

特別損益は、主に生命保険事業における価格変動準備金の繰入等により、5億円の特別損失を計上しました。

四半期純利益は、経常利益の増加にともない、前年同期比7.1%増の78億円となりました。

各事業の種類別セグメントにおける主たる子会社の業績は下記のとおりです。

なお、以下に記載された前年同期との比較は、各子会社における前年同期との比較を、ご参考までに記載したものです。

<生命保険事業>（ソニー生命(単体)）

ソニー生命単体の経常収益は、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したものの、金融市場環境の悪化により特別勘定の資産運用益が減少したことから、前年同期比1.6%減の1,908億円となりました。経常利益は、有価証券売却益が減少したものの、保険料等収入、利息及び配当金収入が増加したことから、0.7%増の123億円、四半期純利益は、9.4%増の70億円となりました。

なお、基礎利益は、利息及び配当金収入などが増加したことから、前年同期比32.8%増の93億円となりました。

保険料等収入は、保有契約高の増加にともない前年同期比2.8%増の1,625億円となりました。資産運用収益は、国債を中心とした有価証券の保有残高の増加等により、利息及び配当金収入が増加しましたが、特別勘定の資産運用益が減少したことにより、19.8%減の275億円となりました。一方、資産運用費用は、一般勘定に係る資産運用損が減少したことにより、42.1%減の26億円となりました。その結果、一般勘定と特別勘定の合計の資産運用損益は16.4%減の248億円となりました。保険金等支払金は2.4%減の609億円となりました。事業費は1.8%増の227億円となりました。

個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は堅調に推移し、前年度末比1.1%増（前年同期末比4.1%増）の31兆8,322億円となりました。解約・失効率は、前年同期比0.03ポイント上昇の1.59%となりました。保有契約年換算保険料は前年度末比1.1%増（前年同期末比4.9%増）の5,360億円、うち、第三分野は前年度末比0.6%増（前年同期末比3.5%増）の1,236億円となりました。

個人保険、個人年金保険を合計した新契約高は前年同期比3.3%増の1兆42億円となりました。また、新契約年換算保険料は2.0%増の162億円、うち、第三分野は0.9%増の35億円となりました。有価証券含み益は、前年度末比29.5%減の901億円となりました。

なお、当第1四半期会計期間において、100億円の増資を行ったことにより、資本金は700億円、資本剰余金は58億円（平成20年6月30日現在）となりました。これは、ソニーライフ・エイゴン・プランニング株式会社の立ち上げにより、保険業法に定める生命保険業免許の取得を条件として、必要となる開業時の資金調達に充当する予定のものであります。

上記の結果、平成20年6月末のソルベンシー・マージン比率は、1,685.6%となりました。

（保険引受及び資産運用の状況）

保険引受業務

保有契約高明細表

	区分	件数（件）	前期末比（％）	金額（百万円）	前期末比（％）
当第1四半期会計期間 （平成20年6月30日）	個人保険	4,473,351	101.8%	31,560,428	101.0%
	個人年金保険	47,594	104.4%	271,813	104.4%
	団体保険	-	-	940,475	100.3%
	団体年金保険	-	-	72,917	99.5%

（注）1．個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2．団体年金保険については、責任準備金の金額です。

新契約高明細表

	区分	件数（件）	金額（百万円）	金額（百万円）	
				新契約	転換による純増加
当第1四半期会計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）	個人保険	140,405	991,110	991,110	-
	個人年金保険	2,392	13,135	13,135	-
	団体保険	-	1,100	1,100	-
	団体年金保険	-	-	-	-

（注）1．新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

2．新契約の団体年金保険の金額は第1回保険料です。

保険料明細表

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
個人保険 (百万円)	157,758
個人年金保険 (百万円)	3,254
団体保険 (百万円)	682
団体年金保険 (百万円)	679

保険金等明細表

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)					
	個人保険	個人年金保険	団体保険	団体年金保険	その他の保険	合計
保険金 (百万円)	14,066	-	297	-	50	14,414
年金 (百万円)	-	971	5	411	-	1,388
給付金 (百万円)	6,545	236	1	795	-	7,578
解約返戻金 (百万円)	36,386	129	-	72	-	36,588

< 損害保険事業 > (ソニー損保)

ソニー損保の経常収益は、主力の自動車保険の好調により正味収入保険料が増加し、前年同期比11.0%増の157億円となりました。経常利益は、主に事業費の増加により、23.5%減の4億円となりました。四半期純利益は34.1%減の2億円となりました。

保険引受の状況については、元受正味保険料は自動車保険の契約件数の増加等により前年同期比10.6%増の154億円、正味収入保険料は11.0%増の155億円となりました。正味支払保険金は契約件数の増加にともない13.1%増の68億円となり、正味損害率は損害調査費の増加もあり1.2ポイント上昇の49.8%となりました。正味事業費率は、業務の効率化を進めた一方でシステム関連費用が増加したことにより、1.2ポイント上昇の26.1%となりました。この結果、保険引受利益は35.3%減の3億円となり、正味事業費率と正味損害率を合わせたコンバインド・レシオは2.4ポイント上昇の75.9%となりました。

(保険引受の状況)

元受正味保険料(含む収入積立保険料)

区 分	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率 (%)
火災保険	68	0.44	-
海上保険	-	-	-
傷害保険	1,630	10.56	-
自動車保険	13,742	89.00	-
自動車損害賠償責任保険	-	-	-
その他	-	-	-
合 計 (うち収入積立保険料)	15,441 (-)	100.00 (-)	-

(注) 元受正味保険料(含む収入積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返戻金及びその他返戻金を控除したものです。(積立型保険の積立保険料を含む。)

正味収入保険料

区 分	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率 (%)
火災保険	3	0.02	-
海上保険	9	0.06	-
傷害保険	1,720	11.08	-
自動車保険	13,690	88.16	-
自動車損害賠償責任保険	105	0.68	-
その他	-	-	-
合 計	15,529	100.00	-

正味支払保険金

区 分	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率 (%)
火災保険	0	0.00	-
海上保険	3	0.06	-
傷害保険	303	4.42	-
自動車保険	6,436	93.83	-
自動車損害賠償責任保険	116	1.69	-
その他	-	-	-
合 計	6,859	100.00	-

< 銀行事業 > (ソニー銀行)

ソニー銀行の経常収益は、業容拡大にともなう運用資産残高の増加等により資金運用収益やその他業務収益が増加し、前年同期比60.6%増の86億円となりました。経常利益は業務粗利益の増加により、150.8%増の12億円となりました。また四半期純利益は、48.0%増の7億円となりました。

業務粗利益は、その他業務収支の増加により、前年同期比45.3%増の36億円となりました。業務粗利益の内訳は、資金運用収支については、預金利息の増加により16.9%減の10億円、役務取引等収支については主に証券関連手数料の減少により90.1%減の0億円、その他業務収支については、外貨預金の運用による外国為替売買益の増加により、129.1%増の25億円となりました。

平成20年6月末の預り資産（預金と投資信託の合計）残高は主に円預金の増加により、前年度末比993億円（8.0%）増加の1兆3,467億円となりました。主な内訳は、預金残高は968億円（8.5%）増加し、1兆2,412億円、投資信託は25億円（2.4%）増の1,054億円、また、貸出金残高も255億円（7.4%）増加の3,726億円と、順調に推移しております。平成20年6月末の口座数は前年度末比3.0万件増の64.0万件となりました。

なお、当第1四半期会計期間において、60億円の増資を行ったことにより、資本金280億円、資本剰余金180億円（平成20年6月30日現在）となりました。また、劣後特約付借入金20億円を借り入れました。これらは、業容拡大にともなう運用資産残高の増加に対し、財務基盤の健全性を確保するためのものです。

上記の結果、平成20年6月末の自己資本比率（国内基準）は、10.2%となりました。

平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出しております。

(銀行事業の状況)

国内・国際業務部門別収支

当第1四半期会計期間の資金運用収支は、10億98百万円、役務取引等収支は6百万円、その他業務収支は25億3百万円となりました。このうち、国内業務部門の資金運用収支は、15億20百万円、役務取引等収支は85百万円、その他業務収支は1億29百万円となりました。また、国際業務部門の資金運用収支は、4億21百万円、役務取引等収支は92百万円、その他業務収支は23億74百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
資金運用収支	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	1,520	421	1,098
うち資金運用収益	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	3,490	1,752	(80) 5,163
うち資金調達費用	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	1,970	2,174	(80) 4,064
役務取引等収支	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	85	92	6
うち役務取引等収益	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	338	93	432
うち役務取引等費用	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	424	1	425
その他業務収支	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	129	2,374	2,503
うちその他業務収益	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	308	2,684	2,992
うちその他業務費用	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	179	309	489

- (注) 1. 「国内業務部門」は国内の円建取引、「国際業務部門」は外貨建取引です。ただし、円建対非居住者取引は国際業務部門に含めております。
2. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の数字は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息です。

国内・国際業務部門別役務取引の状況

役務取引等収益は、証券関連業務、為替業務及び預金・貸出業務を中心に合計で、4億32百万円となりました。役務取引等費用は、支払為替手数料を含めて4億25百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		(百万円)	(百万円)	(百万円)
役務取引等収益	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	338	93	432
うち預金・貸出業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	40	1	41
うち為替業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	43	2	46
うち証券関連業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	208	24	233
うち代理業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	32	-	32
うち保険業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	13	-	13
役務取引等費用	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	424	1	425
うち為替業務	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	17	-	17

(注) 「国内業務部門」とは円建取引、「国際業務部門」とは外貨建取引です。

国内・国際業務部門別預金残高の状況
預金の種類別残高（期末残高）

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		(百万円)	(百万円)	(百万円)
預金合計	前第1四半期会計期間	674,031	122,546	796,577
	当第1四半期会計期間	988,002	253,244	1,241,247
うち流動性預金	前第1四半期会計期間	267,552	27,511	295,063
	当第1四半期会計期間	258,352	71,792	330,144
うち定期性預金	前第1四半期会計期間	406,460	95,035	501,496
	当第1四半期会計期間	729,633	181,452	911,085
うちその他	前第1四半期会計期間	18	-	18
	当第1四半期会計期間	17	-	17
譲渡性預金	前第1四半期会計期間	-	-	-
	当第1四半期会計期間	-	-	-
総合計	前第1四半期会計期間	674,031	122,546	796,577
	当第1四半期会計期間	988,002	253,244	1,241,247

(注) 1. 「国内業務部門」とは円建取引、「国際業務部門」とは外貨建取引です。ただし、円建対非居住者取引は国際業務部門に含めております。

2. 流動性預金は普通預金です。定期性預金は定期預金です。

貸出金残高の状況

業種別貸出状況（期末残高・構成比）

種類	平成20年6月30日	
	貸出金残高 (百万円)	構成比 (%)
国内	372,646	100.00%
個人	372,646	100.00%
法人	-	-
海外	-	-
合計	372,646	100.00%

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、預金・保険料収入が増加したこと及びコールローンが減少したことにより、2,146億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の取得による支出が増加したことにより、2,244億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払が、ソニー銀行における劣後特約付借入れによる収入を上回り、37億円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前年度末から137億円減少の1,224億円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性について

当社グループでは、グループ各社の顧客の信頼を維持・獲得するために高い健全性を維持し、また業務の遂行にともなう支払義務を履行するのに十分な流動性を確保することが重要だと認識しております。

当第1四半期連結会計期間においては、ソニー銀行の業容拡大、ソニー生命の新規事業展開に必要な資本として、昨年の上場に伴う公募増資資金の一部を各社の資本に充当し、健全性の維持に努めました。

また、支払能力の確保に関しては、規制当局の定める各種規制の遵守ならびにそれに準拠した社内規程を制定、運用することによって、十分な現金・預金及び現金同等物を準備しています。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,175,000	2,175,000	東京証券取引所 (市場第一部)	-
計	2,175,000	2,175,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	-	2,175,000	-	19,900	-	195,277

(5)【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、フィデリティ投信株式会社及びその共同保有者であるエフエムアールエルエルシー(FMR LLC)から平成20年7月7日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年6月30日現在でそれぞれ以下の通り株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
フィデリティ 投信株式会社	東京都虎ノ門4丁目3番1号	23,979	1.10
エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	米国02109マサチューセッツ州 ボストン,デヴォンシャー・スト リート82	89,973	4.14

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

平成20年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	-	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,175,000	2,174,991	権利内容に何らの限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,175,000	-	-
総株主の議決権	-	2,174,991	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が9株含まれており、当該株式に係る議決権9個を議決権の数から控除しております。

【自己株式等】

平成20年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高(円)	441,000	442,000	487,000
最低(円)	400,000	409,000	411,000

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しておりますが、資産及び負債の分類並びに収益及び費用の分類は、「保険業法施行規則」(平成8年大蔵省令第5号)及び「銀行法施行規則」(昭和57年大蔵省令第10号)に準拠しております。

(2) 当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)は、四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前第1四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)の四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	53,699	60,058
コールローン及び買入手形	353,401	424,868
買入金銭債権	3,501	—
金銭の信託	932,815	895,672
有価証券	3,098,100	2,930,441
貸出金	※1 483,167	※1 455,763
有形固定資産	※2 83,978	※2 84,451
無形固定資産	17,423	16,412
のれん	2,380	2,505
その他	15,042	13,906
再保険貸	278	256
外国為替	4,438	1,683
その他資産	84,261	101,229
繰延税金資産	16,128	6,937
貸倒引当金	△380	△327
資産の部合計	5,130,814	4,977,450
負債の部		
保険契約準備金	3,547,713	3,454,167
支払備金	34,120	31,653
責任準備金	3,508,422	3,418,006
契約者配当準備金	※3 5,169	※3 4,506
代理店借	1,074	1,308
再保険借	605	926
預金	1,239,993	1,143,476
コールマネー及び売渡手形	10,000	10,000
借入金	2,000	—
外国為替	9	0
その他負債	53,008	62,530
賞与引当金	1,025	2,240
退職給付引当金	12,287	11,920
役員退職慰労引当金	269	252
特別法上の準備金	24,633	24,136
価格変動準備金	24,633	24,136
金融商品取引責任準備金	0	0
繰延税金負債	0	4,156
再評価に係る繰延税金負債	706	706
負債の部合計	4,893,327	4,715,822

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,900	19,900
資本剰余金	195,277	195,277
利益剰余金	△25,112	△26,417
株主資本合計	190,064	188,759
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,796	74,902
繰延ヘッジ損益	△303	△1,345
土地再評価差額金	△1,475	△1,475
為替換算調整勘定	404	786
評価・換算差額等合計	47,422	72,868
純資産の部合計	237,486	261,627
負債及び純資産の部合計	5,130,814	4,977,450

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
経常収益	215,046
生命保険事業	190,702
保険料等収入	162,520
資産運用収益	27,626
(うち利息及び配当金等収入)	12,822
(うち金銭の信託運用益)	4,337
(うち売買目的有価証券運用益)	151
(うち有価証券売却益)	3,008
(うち特別勘定資産運用益)	7,281
その他経常収益	556
損害保険事業	15,707
保険引受収益	15,539
(うち正味収入保険料)	15,529
(うち積立保険料等運用益)	9
資産運用収益	156
(うち利息及び配当金収入)	164
(うち有価証券売却益)	2
(うち積立保険料等運用益振替)	△9
その他経常収益	11
銀行事業	8,636
資金運用収益	5,165
(うち貸出金利息)	2,102
(うち有価証券利息配当金)	2,294
役務取引等収益	420
その他業務収益	2,992
(うち外国為替売買益)	2,279
その他経常収益	58
経常費用	201,092
生命保険事業	178,510
保険金等支払金	60,941
(うち保険金)	14,416
(うち年金)	1,388
(うち給付金)	7,578
(うち解約返戻金)	36,589
(うちその他返戻金)	466
責任準備金等繰入額	89,472
(うち支払備金繰入額)	1,877
(うち責任準備金繰入額)	87,584
(うち契約者配当金積立利息繰入額)	10
資産運用費用	2,653

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

(うち支払利息)	6
(うち有価証券売却損)	42
(うち有価証券評価損)	489
事業費	22,768
その他経常費用	2,673
損害保険事業	15,127
保険引受費用	11,382
(うち正味支払保険金)	6,859
(うち損害調査費)	877
(うち諸手数料及び集金費)	201
(うち支払備金繰入額)	589
(うち責任準備金繰入額)	2,854
営業費及び一般管理費	3,744
その他経常費用	0
銀行事業	7,455
資金調達費用	4,063
(うち預金利息)	3,906
役員取引等費用	291
その他業務費用	489
営業経費	2,549
その他経常費用	62
経常利益	13,953
特別損失	517
固定資産等処分損	20
減損損失	0
特別法上の準備金繰入額	496
価格変動準備金繰入額	496
契約者配当準備金繰入額	874
税金等調整前四半期純利益	12,562
法人税、住民税及び事業税	4,603
法人税等調整額	129
四半期純利益	7,829

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	12,562
減価償却費	726
減損損失	0
のれん償却額	125
支払備金の増減額 (△は減少)	2,467
責任準備金の増減額 (△は減少)	90,439
契約者配当準備金積立利息繰入額	10
契約者配当準備金繰入額 (△は戻入額)	874
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	53
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	718
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	496
金融商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	0
利息及び配当金等収入	△18,151
有価証券関係損益 (△は益)	△7,554
支払利息	4,069
為替差損益 (△は益)	△4,350
有形固定資産関係損益 (△は益)	20
貸出金の純増 (△) 減	△25,580
預金の純増減 (△)	95,866
コールローン等の純増 (△) 減	64,367
その他	△15,194
小計	201,983
利息及び配当金等の受取額	20,852
利息の支払額	△2,720
契約者配当金の支払額	△221
法人税等の支払額	△5,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	
金銭の信託の増加による支出	△34,759
有価証券の取得による支出	△311,488
有価証券の売却・償還による収入	130,625
貸付けによる支出	△10,658
貸付金の回収による収入	4,154
その他	850
資産運用活動計	△221,276
営業活動及び資産運用活動計	△6,655
有形固定資産の取得による支出	△326
有形固定資産の売却による収入	0

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
無形固定資産の取得による支出	△2,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	
劣後特約付借入れによる収入	2,000
配当金の支払額	△5,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,755
現金及び現金同等物の期首残高	136,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 122,431

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
1. 貸倒引当金の計上方法	一部の連結子会社の「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成20年3月期に算定した予想損失率を使用して計上しております。
2. 繰延税金資産の回収可能性の判断	一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測の結果を用いております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)																				
<p>1 貸出金のうち、リスク管理債権は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">破綻先債権額</td> <td style="text-align: right;">114百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">240百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3ヵ月以上延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">-百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸出条件緩和債権額</td> <td style="text-align: right;">244百万円</td> </tr> </table> <p>なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。</p>	破綻先債権額	114百万円	延滞債権額	240百万円	3ヵ月以上延滞債権額	-百万円	貸出条件緩和債権額	244百万円	<p>1 貸出金のうち、リスク管理債権は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">破綻先債権額</td> <td style="text-align: right;">15百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">227百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3ヵ月以上延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">-百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸出条件緩和債権額</td> <td style="text-align: right;">244百万円</td> </tr> </table> <p>なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。</p>	破綻先債権額	15百万円	延滞債権額	227百万円	3ヵ月以上延滞債権額	-百万円	貸出条件緩和債権額	244百万円				
破綻先債権額	114百万円																				
延滞債権額	240百万円																				
3ヵ月以上延滞債権額	-百万円																				
貸出条件緩和債権額	244百万円																				
破綻先債権額	15百万円																				
延滞債権額	227百万円																				
3ヵ月以上延滞債権額	-百万円																				
貸出条件緩和債権額	244百万円																				
<p>2 有形固定資産の減価償却累計額は、11,683百万円であります。</p>	<p>2 有形固定資産の減価償却累計額は、10,926百万円であります。</p>																				
<p>3 国内の生命保険子会社に係る契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">前事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">4,506百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当四半期会計期間契約者配当金支払額</td> <td style="text-align: right;">221百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">10百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">契約者配当準備金繰入額</td> <td style="text-align: right;">874百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当四半期会計期間末現在高</td> <td style="text-align: right;">5,169百万円</td> </tr> </table>	前事業年度末現在高	4,506百万円	当四半期会計期間契約者配当金支払額	221百万円	利息による増加等	10百万円	契約者配当準備金繰入額	874百万円	当四半期会計期間末現在高	5,169百万円	<p>3 国内の生命保険子会社に係る契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">前事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">2,597百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当事業年度契約者配当金支払額</td> <td style="text-align: right;">1,264百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">契約者配当準備金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,159百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">4,506百万円</td> </tr> </table>	前事業年度末現在高	2,597百万円	当事業年度契約者配当金支払額	1,264百万円	利息による増加等	13百万円	契約者配当準備金繰入額	3,159百万円	当事業年度末現在高	4,506百万円
前事業年度末現在高	4,506百万円																				
当四半期会計期間契約者配当金支払額	221百万円																				
利息による増加等	10百万円																				
契約者配当準備金繰入額	874百万円																				
当四半期会計期間末現在高	5,169百万円																				
前事業年度末現在高	2,597百万円																				
当事業年度契約者配当金支払額	1,264百万円																				
利息による増加等	13百万円																				
契約者配当準備金繰入額	3,159百万円																				
当事業年度末現在高	4,506百万円																				

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)										
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(平成20年6月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金及び預貯金</td> <td style="text-align: right;">53,699</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">国内の生命保険子会社のコールローン</td> <td style="text-align: right;">65,200</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">損害保険子会社の取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する有価証券</td> <td style="text-align: right;">3,531</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">122,431</td> </tr> </table>	百万円		現金及び預貯金	53,699	国内の生命保険子会社のコールローン	65,200	損害保険子会社の取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する有価証券	3,531	現金及び現金同等物	122,431
百万円										
現金及び預貯金	53,699									
国内の生命保険子会社のコールローン	65,200									
損害保険子会社の取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する有価証券	3,531									
現金及び現金同等物	122,431									
<p>2 投資活動によるキャッシュ・フローには、保険事業に係る貸付業務から生じるキャッシュ・フローを含んでおります。</p>										

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 2,175,000株

2. 自己株式の種類及び株式数
該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成20年6月26日 定時株主総会	普通株式	6,525	3,000	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益 剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	生命保険 事業 (百万円)	損害保険 事業 (百万円)	銀行事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益						
(1) 外部顧客に対する 経常収益	190,702	15,707	8,636	215,046	-	215,046
(2) セグメント間の内 部経常収益	240	3	11	256	(256)	-
計	190,943	15,710	8,648	215,302	(256)	215,046
経常利益	12,390	472	1,049	13,912	41	13,953

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 各分野の事業内容及び主要会社

(1) 生命保険事業・・・ソニー生命保険(株)、Sony Life Insurance (Philippines) Corporation

(2) 損害保険事業・・・ソニー損害保険(株)

(3) 銀行事業・・・ソニー銀行(株)、ソニーバンク証券(株)

【所在地別セグメント情報】

全セグメントの経常収益の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

海外売上高(経常収益)が連結売上高(経常収益)の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)

1. 企業集団の事業の運営において重要なものであり、前連結会計年度の末日に比して著しく変動が認められるものは、次のとおりであります。
2. 四半期連結貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパーを含めて記載しております。

1 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
公社債	76,902	77,452	550
国債・地方債	70,773	71,287	514
社債	6,129	6,165	36
その他	1,098	1,122	23
合計	78,000	78,575	574

2 その他有価証券で時価のあるもの

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	評価差額(百万円)
公社債	2,103,900	2,117,832	13,932
国債・地方債	1,606,855	1,612,485	5,630
社債	497,045	505,347	8,302
株式	123,306	179,219	55,912
その他	374,430	369,018	5,411
合計	2,601,637	2,666,070	64,433

(注) その他有価証券で時価のある有価証券について489百万円の減損処理を行っております。なお、四半期連結会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄については原則として減損処理を行っておりません。

(金銭の信託関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)

企業集団の事業の運営において重要なものであり、前連結会計年度の末日に比して著しく変動が認められるものは、次のとおりであります。

1 満期保有目的の金銭の信託

該当事項はありません。

2 その他の金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表計上 額(百万円)	評価差額(百万円)
その他の金銭の信託	856,703	869,783	13,079

(注) 1. 本表には合同運用の金銭の信託271百万円を含んでおります。

2. 運用目的、満期保有目的及び責任準備金対応以外の金銭の信託について237百万円の減損処理を行っております。なお、金銭の信託において信託財産として運用している有価証券の減損については、四半期連結会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄については原則として減損処理を行っております。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)

企業集団の事業の運営において重要なものであり、前連結会計年度の末日に比して著しく変動が認められるものは、次のとおりであります。

(1) 金利関連取引

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
取引所	金利先物	560,000	261	261
店頭	金利スワップ	113,841	79	79
合計		-	181	181

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
店頭	通貨スワップ	2,726	224	224
	為替予約	313,417	3,228	3,228
	通貨オプション	4,222	20	14
合計		-	2,983	3,019

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
取引所	株価指数オプション	2,370	17	29
合計		-	17	29

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

(4) 債券関連取引

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
取引所	債券先物	4,000	39	39
店頭	債券オプション	991	0	2
合計		-	39	36

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

(5) クレジットデリバティブ取引

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
店頭	クレジット・デフォルト・オプション	16,231	422	422
合計		-	422	422

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 109,189円40銭	1株当たり純資産額 120,288円66銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1株当たり四半期純利益 3,599円85銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(百万円)	7,829
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	7,829
普通株式の期中平均株式数(株)	2,175,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

(参考)

当社は、純粋持株会社であるため、参考として、主たる子会社であるソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社の四半期財務諸表を記載します。

なお、これらの四半期財務諸表につきましては、いずれも金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく四半期レビューを受けておりません。

(ソニー生命保険株式会社の四半期財務諸表)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末に係る要約 貸借対照表 (平成20年3月31日)	
(資産の部)				
現金及び預貯金		31,948		22,999
コールローン		65,200		72,300
金銭の信託		931,094		893,952
有価証券		2,428,301		2,388,932
(うち国債)		(1,435,236)		(1,425,010)
(うち地方債)		(34,268)		(35,869)
(うち社債)		(372,702)		(371,852)
(うち株式)		(209,394)		(198,233)
(うち外国証券)		(280,824)		(271,423)
貸付金		110,512		108,688
保険約款貸付		110,512		108,688
有形固定資産	1	83,108	1	83,651
無形固定資産		8,416		8,095
再保険貸		207		144
その他資産		56,275		81,096
繰延税金資産		9,579		-
貸倒引当金		86		74
資産の部合計		3,724,558		3,659,786

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末に係る要約 貸借対照表 (平成20年3月31日)	
(負債の部)				
保険契約準備金		3,487,118		3,397,003
支払備金		19,283		17,405
責任準備金		3,462,665		3,375,090
契約者配当準備金	2	5,169	2	4,506
代理店借		1,074		1,308
再保険借		504		740
その他負債		30,015		37,704
退職給付引当金		11,670		11,324
役員退職慰労引当金		77		71
特別法上の準備金		24,593		24,099
価格変動準備金		24,593		24,099
繰延税金負債		-		4,155
再評価に係る繰延税金負債		706		706
負債の部合計		3,555,761		3,477,115
(純資産の部)				
資本金		70,000		65,000
資本剰余金		5,865		865
資本準備金		5,865		865
利益剰余金		35,564		35,542
利益準備金		8,478		7,078
その他利益剰余金		27,086		28,464
繰越利益剰余金		27,086		28,484
株主資本合計		111,429		101,407
その他有価証券評価差額金		58,842		82,739
土地再評価差額金		1,475		1,475
評価・換算差額等合計		57,366		81,263
純資産の部合計		168,796		182,671
負債及び純資産の部合計		3,724,558		3,659,786

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
経常収益	190,847
保険料等収入	162,590
(うち保険料)	(162,374)
資産運用収益	27,533
(うち利息及び配当金等収入)	(12,743)
(うち金銭の信託運用益)	(4,337)
(うち売買目的有価証券運用益)	(151)
(うち有価証券売却益)	(2,994)
(うち金融派生商品収益)	(24)
(うち特別勘定資産運用益)	(7,281)
その他経常収益	722
経常費用	178,502
保険金等支払金	60,938
(うち保険金)	(14,414)
(うち年金)	(1,388)
(うち給付金)	(7,578)
(うち解約返戻金)	(36,588)
(うちその他返戻金)	(466)
責任準備金等繰入額	89,462
支払備金繰入額	1,877
責任準備金繰入額	87,574
契約者配当金積立利息繰入額	10
資産運用費用	2,672
(うち支払利息)	(6)
(うち有価証券売却損)	(42)
(うち有価証券評価損)	(489)
事業費	22,784
その他経常費用	2,643
経常利益	12,345

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
特別損失	511
固定資産等処分損	17
減損損失	0
特別法上の準備金繰入額	493
価格変動準備金繰入額	493
契約者配当準備金繰入額	874
税引前四半期純利益	10,959
法人税及び住民税	4,162
法人税等調整額	225
四半期純利益	7,022

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	10,959
減価償却費	407
減損損失	0
支払備金の増加額	1,877
責任準備金の増加額	87,574
契約者配当金積立利息繰入額	10
契約者配当準備金繰入額	874
貸倒引当金の増加額	12
退職給付引当金の増加額	697
役員退職慰労引当金の増加額	6
価格変動準備金の増加額	493
利息及び配当金等収入	12,743
有価証券関係損益(益)	9,101
支払利息	6
有形固定資産関係損益(益)	17
その他	4,839
小計	76,252
利息及び配当金等の受取額	15,510
利息の支払額	6
契約者配当金の支払額	221
その他	96
法人税等の支払額	4,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,815

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
金銭の信託の増加による支出	34,758
有価証券の取得による支出	89,549
有価証券の売却・償還による収入	44,625
貸付けによる支出	10,658
貸付金の回収による収入	4,153
その他	850
小計	85,335
(+)	(1,479)
有形固定資産の取得による支出	140
関連会社株式の取得による支出	1,000
その他	1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,964
. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	10,000
配当金の支払額	7,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,999
. 現金及び現金同等物に係る換算差額	-
. 現金及び現金同等物の増加額	1,849
. 現金及び現金同等物の期首残高	95,299
. 現金及び現金同等物の四半期末残高	1 97,148

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第 1 四半期会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前事業年度末 (平成20年 3 月31日)																				
<p>1 . 有形固定資産の減価償却累計額は、10,076百万円 であります。</p> <p>2 . 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであり ます。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">前事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">4,506百万円</td> </tr> <tr> <td>当四半期会計期間契約者配当金 支払額</td> <td style="text-align: right;">221百万円</td> </tr> <tr> <td>利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">10百万円</td> </tr> <tr> <td>契約者配当準備金繰入額</td> <td style="text-align: right;">874百万円</td> </tr> <tr> <td>当四半期会計期間末現在高</td> <td style="text-align: right;">5,169百万円</td> </tr> </table>	前事業年度末現在高	4,506百万円	当四半期会計期間契約者配当金 支払額	221百万円	利息による増加等	10百万円	契約者配当準備金繰入額	874百万円	当四半期会計期間末現在高	5,169百万円	<p>1 . 有形固定資産の減価償却累計額は、9,365百万円 であります。</p> <p>2 . 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであり ます。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">前事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">2,597百万円</td> </tr> <tr> <td>当事業年度契約者配当金支払額</td> <td style="text-align: right;">1,264百万円</td> </tr> <tr> <td>利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> </tr> <tr> <td>契約者配当準備金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,159百万円</td> </tr> <tr> <td>当事業年度末現在高</td> <td style="text-align: right;">4,506百万円</td> </tr> </table>	前事業年度末現在高	2,597百万円	当事業年度契約者配当金支払額	1,264百万円	利息による増加等	13百万円	契約者配当準備金繰入額	3,159百万円	当事業年度末現在高	4,506百万円
前事業年度末現在高	4,506百万円																				
当四半期会計期間契約者配当金 支払額	221百万円																				
利息による増加等	10百万円																				
契約者配当準備金繰入額	874百万円																				
当四半期会計期間末現在高	5,169百万円																				
前事業年度末現在高	2,597百万円																				
当事業年度契約者配当金支払額	1,264百万円																				
利息による増加等	13百万円																				
契約者配当準備金繰入額	3,159百万円																				
当事業年度末現在高	4,506百万円																				

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)						
<p>1 . 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借 対照表に記載されている科目の金額との関係は、次 のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(平成20年 6 月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預貯金</td> <td style="text-align: right;">31,948百万円</td> </tr> <tr> <td>コールローン</td> <td style="text-align: right;">65,200百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">97,148百万円</td> </tr> </table>	現金及び預貯金	31,948百万円	コールローン	65,200百万円	現金及び現金同等物	97,148百万円
現金及び預貯金	31,948百万円					
コールローン	65,200百万円					
現金及び現金同等物	97,148百万円					

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末 株式数(千株)
発行済株式	
普通株式	70,000
合計	70,000
自己株式	
普通株式	-
合計	-

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,000	107.70	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成20年5月2日開催の取締役会決議に基づき、平成20年5月23日付でソニーフィナンシャルホールディングス株式会社に対して株主割当を実行し、同日付で資本金が5,000百万円、資本準備金が5,000百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が70,000百万円、資本準備金が5,865百万円となっております。

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
公社債	13,743	14,025	281
国債・地方債	13,743	14,025	281
合計	13,743	14,025	281

2. その他有価証券で時価のあるもの

	取得原価(百万円)	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	評価差額(百万円)
公社債	1,688,385	1,711,374	22,989
国債・地方債	1,372,821	1,386,446	13,625
社債	315,564	324,927	9,363
株式	123,306	179,219	55,912
その他	171,113	169,019	2,093
合計	1,982,805	2,059,613	76,808

(注) その他有価証券で時価のある有価証券について489百万円の減損処理を行っております。なお、四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄については原則として減損処理を行っております。

(金銭の信託関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

1. 満期保有目的及び責任準備金対応の金銭の信託
該当事項はありません。

2. 運用目的、満期保有目的及び責任準備金対応以外の金銭の信託

	取得原価(百万円)	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	評価差額(百万円)
金銭の信託	854,931	868,011	13,079

(注) 1 上記のほか、取得原価をもって四半期貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が50百万円あります。
2 運用目的、満期保有目的及び責任準備金対応以外の金銭の信託について、237百万円の減損処理を行っております。なお、金銭の信託において信託財産として運用している有価証券の減損については、四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落した銘柄については原則として減損処理を行っております。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期会計期間末 (平成20年 6 月30日)		前事業年度末 (平成20年 3 月31日)	
1 株当たり純資産額	2,411円38銭	1 株当たり純資産額	2,810円33銭

2 . 1 株当たり四半期純利益等

当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	
1 株当たり四半期純利益	104円59銭
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載していません。	

(注) 1 株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
四半期純利益 (百万円)	7,022
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	7,022
普通株式の期中平均株式数 (千株)	67,142

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(ソニー損害保険株式会社の四半期財務諸表)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末に係る要約 貸借対照表 (平成20年3月31日)	
資産の部				
現金及び預貯金		2,193		2,929
有価証券		59,788		56,237
有形固定資産	1	279	1	231
無形固定資産		4,678		4,075
その他資産		9,930		10,736
繰延税金資産		4,602		4,434
資産の部合計		81,472		78,645
負債の部				
保険契約準備金		60,402		56,958
支払備金		(14,836)		(14,246)
責任準備金		(45,565)		(42,711)
その他負債		4,601		5,284
未払法人税等		(424)		(516)
その他の負債		(4,177)		(4,767)
退職給付引当金		426		412
役員退職慰労引当金		41		39
賞与引当金		277		529
特別法上の準備金		39		36
価格変動準備金		(39)		(36)
負債の部合計		65,789		63,260

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る要約 貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	24,303	24,591
株主資本合計	15,696	15,408
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13	23
評価・換算差額等合計	13	23
純資産の部合計	15,683	15,385
負債及び純資産の部合計	81,472	78,645

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
経常収益	15,710
保険引受収益	15,539
(うち正味収入保険料)	(15,529)
(うち積立保険料等運用益)	(9)
資産運用収益	155
(うち利息及び配当金収入)	(162)
(うち有価証券売却益)	(2)
(うち積立保険料等運用益振替)	(9)
その他経常収益	16
経常費用	15,238
保険引受費用	11,474
(うち正味支払保険金)	(6,859)
(うち損害調査費)	(877)
(うち諸手数料及び集金費)	(294)
(うち支払備金繰入額)	(589)
(うち責任準備金繰入額)	(2,854)
資産運用費用	-
営業費及び一般管理費	3,762
その他経常費用	0
経常利益	472
特別利益	-
特別損失	5
固定資産処分損	(2)
特別法上の準備金繰入額	(2)
価格変動準備金繰入額	((2))
税引前四半期純利益	466
法人税及び住民税	346
法人税等調整額	168
四半期純利益	288

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	466
減価償却費	130
支払備金の増減額(は減少)	589
責任準備金の増減額(は減少)	2,854
退職給付引当金の増減額(は減少)	14
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1
賞与引当金の増減額(は減少)	251
価格変動準備金の増減額(は減少)	2
利息及び配当金収入	162
有価証券関係損益(は益)	2
有形固定資産関係損益(は益)	2
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(は増加)	822
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(は減少)	648
小計	3,820
利息及び配当金の受取額	173
法人税等の支払額	379
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,613

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出		10,845
有価証券の売却・償還による収入		6,982
資産運用活動計		3,862
営業活動及び資産運用活動計		248
有形固定資産の取得による支出		63
その他		720
投資活動によるキャッシュ・フロー		4,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		-
現金及び現金同等物に係る換算差額		-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)		1,033
現金及び現金同等物の期首残高		6,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	1	5,724

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は223百万円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は212百万円であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)
現金及び預貯金 2,193百万円
有価証券 59,788百万円
現金同等物以外の有価証券 56,256百万円
現金及び現金同等物 5,724百万円
2 投資活動によるキャッシュ・フローには、保険事業に係る資産運用業務から生じるキャッシュ・フローを含んでおります。

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

発行済株式の種類及び総数

普通株式 400千株

(有価証券関係)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		
	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
公社債	41,278	41,380	101
外国証券	1,098	1,122	23
合計	42,377	42,502	125

2. その他有価証券で時価のあるもの

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		
	取得原価 (百万円)	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	差額 (百万円)
公社債	13,893	13,879	13
合計	13,893	13,879	13

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	39,207.57円	1株当たり純資産額	38,462.76円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	15,683	15,385
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期会計期間末(事業年度末)の純資産額(百万円)	15,683	15,385
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期会計期間末(事業年度末)の普通株式の数(千株)	400	400

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	720.26円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(百万円)	288
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	288
普通株式の期中平均株式数(千株)	400

(重要な後発事象)

当第1四半期会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(ソニー銀行株式会社の四半期財務諸表)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
資産の部				
現金預け金		9,298		7,346
コールローン		288,201		352,568
買入金銭債権		3,501		-
有価証券		613,837		488,777
貸出金	1	372,646	1	347,065
外国為替		4,438		1,683
その他資産		16,734		9,367
有形固定資産	2	532	2	504
無形固定資産		1,719		1,506
繰延税金資産		1,876		2,433
貸倒引当金		293		253
資産の部合計		1,312,493		1,211,000
負債の部				
預金		1,241,247		1,144,398
コールマネー		10,000		10,000
借入金		2,000		-
外国為替		9		0
その他負債		17,590		20,311
賞与引当金		70		369
退職給付引当金		163		157
役員退職慰労引当金		53		50
負債の部合計		1,271,135		1,175,288

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	28,000	25,000
資本剰余金	18,000	15,000
利益剰余金	7,050	6,296
株主資本合計	53,050	46,296
その他有価証券評価差額金	11,206	9,055
繰延ヘッジ損益	486	1,529
評価・換算差額等合計	11,692	10,584
純資産の部合計	41,357	35,712
負債及び純資産の部合計	1,312,493	1,211,000

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
経常収益	8,643
資金運用収益	5,163
(うち貸出金利息)	2,102
(うち有価証券利息配当金)	2,294
役務取引等収益	432
その他業務収益	2,992
(うち外国為替売買益)	2,279
その他経常収益	55
経常費用	7,365
資金調達費用	4,064
(うち預金利息)	3,907
役務取引等費用	425
その他業務費用	489
営業経費	2,325
その他経常費用	61
経常利益	1,277
税引前四半期純利益	1,277
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等調整額	522
四半期純利益	754

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,277
減価償却費	170
貸倒引当金の増加額	40
為替差損益()	4,361
貸出金の純増()減	25,580
預金の純増減()	96,198
コールローン等の純増()減	64,367
資金運用による収入	5,069
資金調達による支出	2,714
法人税等の支払額	3
その他	8,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	209,347
有価証券の売却による収入	26,364
有価証券の償還による収入	51,901
有形固定資産の取得による支出	120
無形固定資産の取得による支出	647
投資活動によるキャッシュ・フロー	131,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	
劣後特約付借入による収入	2,000
株式の発行による収入	6,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増加(減少)額	1,951
現金及び現金同等物の期首残高	7,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,298

簡便な会計処理

	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
1. 貸倒引当金の計上方法	「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成20年3月期に算定した予想損失率を適用して計上しております。
2. 繰延税金資産の回収可能性の判断	繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前事業年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測の結果を適用しております。

四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
1. 税金費用の処理	税金費用は、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)																
<p>1 貸出金のうち、リスク管理債権は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">破綻先債権額</td> <td style="text-align: right;">114百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">240百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3ヵ月以上延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">-百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸出条件緩和債権額</td> <td style="text-align: right;">244百万円</td> </tr> </table> <p>なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。</p> <p>2 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">1,256百万円</p>	破綻先債権額	114百万円	延滞債権額	240百万円	3ヵ月以上延滞債権額	-百万円	貸出条件緩和債権額	244百万円	<p>1 貸出金のうち、リスク管理債権は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">破綻先債権額</td> <td style="text-align: right;">15百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">227百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3ヵ月以上延滞債権額</td> <td style="text-align: right;">-百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸出条件緩和債権額</td> <td style="text-align: right;">244百万円</td> </tr> </table> <p>なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。</p> <p>2 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">1,217百万円</p>	破綻先債権額	15百万円	延滞債権額	227百万円	3ヵ月以上延滞債権額	-百万円	貸出条件緩和債権額	244百万円
破綻先債権額	114百万円																
延滞債権額	240百万円																
3ヵ月以上延滞債権額	-百万円																
貸出条件緩和債権額	244百万円																
破綻先債権額	15百万円																
延滞債権額	227百万円																
3ヵ月以上延滞債権額	-百万円																
貸出条件緩和債権額	244百万円																

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)				
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係</p> <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <p>平成20年6月30日現在</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金預け金勘定</td> <td style="text-align: right;">9,298</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">9,298</td> </tr> </table>	現金預け金勘定	9,298	現金及び現金同等物	9,298
現金預け金勘定	9,298			
現金及び現金同等物	9,298			

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項
(単位:千株)

	当第1四半期会計期間末株式数
発行済株式	
普通株式	560
合計	560

2. 配当に関する事項
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

平成20年4月23日付で、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社から株主割当増資の払い込みを受け、この結果、当第1四半期会計期間において資本金が3,000百万円、資本準備金が3,000百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が28,000百万円、資本準備金が18,000百万円となっております。

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末

1. 当社の事業の運営において重要なものであり、前事業年度の末日に比して著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。
2. 四半期貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパーを含めて記載しております。

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの(平成20年6月30日現在)

	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
国債	19,910	20,069	159
社債	1,969	1,978	8
合計	21,880	22,047	167

(注) 時価は、当第1四半期会計期間末日における市場価格等に基づいております。

2. その他有価証券で時価のあるもの(平成20年6月30日現在)

	取得原価(百万円)	四半期貸借対照表計上額 (百万円)	評価差額(百万円)
債券	401,621	392,578	9,042
国債	228,897	220,895	8,001
短期社債	1,999	1,999	0
社債	170,724	169,683	1,041
その他	201,300	197,881	3,419
合計	602,922	590,459	12,462

(注) 四半期貸借対照表計上額は、当第1四半期会計期間末日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末

当社の事業の運営において重要なものであり、前事業年度の末日に比して著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

(1) 金利関連取引(平成20年6月30日現在)

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
取引所	金利先物	560,000	261	261
店頭	金利スワップ	113,841	79	79
	合計	-	181	181

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期損益計算書に計上しております。

なお、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取り扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)等に基づき、ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引(平成20年6月30日現在)

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
店頭	通貨スワップ	2,726	224	224
	為替予約	313,417	3,228	3,228
	通貨オプション	991	6	6
	合計	-	2,997	3,011

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期損益計算書に計上しております。

なお、ヘッジ会計を適用している通貨スワップ取引等については、上記記載から除いております。

(3) 債券関連取引(平成20年6月30日現在)

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
取引所	債券先物	4,000	39	39
	合計	-	39	39

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期損益計算書に計上しております。

(4) クレジットデリバティブ取引(平成20年6月30日現在)

区分	種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
店頭	クレジット・デフォルト・オプション	16,231	422	422
	合計	-	422	422

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期損益計算書に計上しております。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

		当第 1 四半期会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前事業年度末 (平成20年 3 月31日)
1 株当たり純資産額	円	73,853.32	71,424.33

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

		当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	円	1,382.37

(注) 1 . 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益	百万円	754
普通株主に帰属しない金額	百万円	-
普通株式に係る四半期純利益	百万円	754
普通株式の期中平均株式数	千株	545

2 . なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月13日

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大塚 啓一

指定社員
業務執行社員 公認会計士 丸山 琢永

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月13日
【会社名】	ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
【英訳名】	Sony Financial Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 徳中 暉久
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません
【本店の所在の場所】	東京都港区南青山一丁目1番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役 徳中暉久は、当社の第5期第1四半期（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。